

# (12) 農 業

## 1 設置科目及び履修要件

(カッコ内は標準単位数)

### ○ 原則履修科目

農業と環境 (2～6)  
課題研究 (2～6)

### ○ 名称変更

農業と情報 (2～6)  
食品微生物 (2～6)  
地域資源活用 (2～8)

### ○ 内容の改善を図った主な科目

農業と環境 (2～6)      栽培と環境 (2～6)      飼育と環境 (2～6)  
農業経営 (2～6)      造園施工管理 (2～6)      造園植栽 (2～6)

## 2 教科の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業や農業関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することをめざす。

### → ここがポイント!

- 農業や農業関連産業に関する学習を学校農場や実習施設などで実践的・体験的な学習活動を通して学び、食糧生産や環境保全及び資源活用の現状を認識する。
- 持続可能で創造的な農業や地域振興の観点からこれからの農業のあるべき姿を見いだし、地域農業や地域社会の課題解決に向けた学習活動を進めていく。

## 3 各科目の内容（主な変更点等）

農業と環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業生物の育成と環境保全に関するプロジェクト学習の意義と役割を明確に位置付けた。</li> <li>・ 系統的なプロジェクト学習を展開できるようにした。</li> </ul>
栽培と環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栽培系科目との関連を図り、土・肥料・病害虫の防除など農業技術の補完的な役割を有する科目に整理統合した。</li> </ul>
飼育と環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 従前の「動物バイオテクノロジー」の学習内容を「飼育と環境」とし、各種動物の飼育管理について幅広く学習できるように整理統合した。</li> </ul>
農業経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「農業経済」と「農業経営」を整理統合した。</li> <li>・ 経営管理やマーケティングに関する学習内容を充実した。</li> </ul>
造園施工管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 植物を除く造園材料の種類や特性から活用に至るまでを系統的に学習できるようにした。</li> </ul>
造園植栽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 植物材料の種類や特性から植物材料の活用に至るまでを系統的に学習できるようにした。</li> </ul>

## 4 各科目の履修に関する配慮事項

- 課題意識をもって学習に臨むことが重要であることから、プロジェクト学習の意義と実践について明確に位置付けること。
- 農業に関する各学科においては、原則として農業科に属する科目に担当する総授業時数の10分の5以上を実験・実習に配当すること。

## 5 新学習指導要領の趣旨や内容に対応した授業の創造

### 「何ができるようになるか」～農業において育成をめざす資質・能力～

知識・技術	・ 農業の各分野についての体系的・系統的な理解及び関連する技術
思考力・判断力・表現力等	・ 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力
学びに向かう力・人間性等	・ 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築をめざして自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度

### 「何を学ぶか」～農業において重視する学習内容・学習活動～

- 持続可能で多様な環境に関する学習。
- 農業経営のグローバル化や法人化、六次産業化や企業参入等に関する学習や、経営感覚を身に付けるための学習。
- 安全・安心な食料の持続的な生産と供給についての学習。
- 農業のもつ多面的な特質を含めて地域資源に関する学習。

### 「どのように学ぶか」～主体的・対話的で深い学びの実現をめざして～

(例 科目「作物」)

「**プロジェクト学習**」を導入部分に設定し、  
①課題設定、②計画立案、③実施、④反省評価 の手順で学習

- ① 課題設定： 安定した品質の作物生産などのあるべき姿と、それに対する現状の認識から問題点を抽出・整理し、達成する目標を明確にすることが大切。  
【テーマ例：「安定した品質の作物生産と効果的な販売方法」】
- ② 計画立案： 設定した課題の解決に向けては、仮説を設定した上で計画を立案。
- ③ 実施： 農業生産工程管理（GAP）に基づき調査、観察、実験、記録等を継続的に実施。
- ④ 反省評価： 結果を分析、考察、評価し、まとめること。

※ 学習成果をより確実なものにするため、発表の機会を設けることも考えられる。